

## 留学報告書

～マイナス 40 度の地で学んだことって何だろう！？～

アラスカ大学フェアバンクス校  
外国語学部生（長期）

私は、2022 年 8 月から 2023 年の 5 月まで、アメリカのアラスカ州にあるアラスカ大学フェアバンクス校で留学をさせていただきました。留学を決めた理由としては、自分の夢であった海外大学への留学を通して、自分の英語力を試しながら英語力だけではなく、人としても成長したいと考えたからです。冬にはマイナス 40 度にもなるアラスカで、私がどのような経験をして、何を学んで、それをこれからどういかしていくのかをお話しします。

まず、私が留学中に大切にしていたことは「チャレンジ精神」です。積極性とも言えます。私は同じ言語を話す日本人の人にも緊張してしまうほど、人見知りです。留学して最初の頃は自分の英語に 100%の自信が持てず、現地の学生と話すことが苦手でした。授業が始まり数週間してから、新学期の始まりを祝うイベントが行われました。そこである学生たちが私に「ネイル可愛いね！俺にもネイルしてよ！」と話しかけてくれました。その時に、これはチャンスなのではないかと思い、勇気を出して話しかけ、そこからその友達を通してどんどん友好関係を広げることが出来ました。

そこからは、「やらぬ後悔よりやる後悔」、「何事もやってみないと分からない」という考えを意識しながら生活しました。生まれて初めてのアラスカでのロッククライミングも、知らない人だらけのパーティーも、授業での発言も、今考えるともう二度と出来ないことなのかもしれません。ただ留学をして英語力を身に着けるだけが私の目標ではなく、そこでしかできないことをすることも経験であり、留学の一部だと考えていたので、自分のチャレンジ精神のおかげでとても濃い経験が出来たと思います。

次に、「自分でしか自分を救うことは出来ない」という考えを通して、対応力とそれに伴い英語力もさらに成長させることが出来ました。この考えは、私が日本にいる時から持っていた考えではありますが、留学をしてさらに深くこのことについて考えるようになりました。

私がこのことをさらに深く考えるようになったのは、2 学期目の最初に履修登録について派遣先の大学とトラブルになったことがきっかけです。冬休み中に履修登録を終わらせていたのにも関わらず、2 学期目の初日に大学側から「心理学ではなく ESL のリーディングの授業を履修してほしい」と言われ、心理学を履修したかった私はすぐにオフィスに行き、説明を求め、自分の意見を伝えました。しかし、私の意見は通らず、絶対にリーディングの授業をとらなければいけないと言われてしまいました。日本の大学や現地のいろんなオフィスにもメールをしましたが、全て「担当ではないので他で聞いてくれ」との回答でした。アラスカまで来て、夢だった大学留学をして、せつかく興味を持った心理学の授業を受けられ

と思っていたのに、このような結果で終わってしまうのかと諦めかけていた時、スピーキングの先生に「ここはアメリカだよ。言ってみたら変わることもあると思うよ。」と言われ、諦めずに何回もオフィスを訪れ、自分がなぜ心理学をとりたいのかをさらに明確にして自分の意見を伝え、その結果、大学側は私が心理学を履修することを認めてくれました。この1週間は新しい授業と、この履修登録のことと、生活と、いろいろなことに精一杯でとても大変でしたが、そのおかげで対応力と英語力をさらに成長させることが出来ました。

そして、私が留学を通して一番成長したと考えるのは、自分の意見を伝えられるようになったことです。履修登録のトラブルの時のように、自分の意見を伝えることが出来るようになったことはもちろん、「どうすれば私の意見に耳を傾けてもらえるか」を意識して物事を考えることが出来るようになりました。ただ一方的に意見をぶつけるだけではなく、順序を考えて伝えたり、より説得力のある理由を考えたりして、少しの工夫でも相手への伝わりやすさが変わってくることを学びました。

英米文学の授業や、普段の友達との会話で、沖縄の米軍基地の話をする機会がありました。私は個人的に沖縄に米軍基地があることには賛成していませんが、そのことを伝えるとある学生から「なぜそう思うの？僕たちが日本を守ってあげているのに。」と言われ、考え方の違いに驚きました。その時にもどうすれば私の意見に少しでも共感してくれるかを考え、意見を伝えました。「オスプレイが小学校のグラウンドに落ちたり、たくさんの女性が性被害にあって殺されたり、さらに犯人たちが捕まっても裁判で正当に裁かれなかったりするから私は賛成できないよ。」と、なぜ私が反対しているのかという理由を明確にして伝えたと、そんなことがあったなんて知らなかった。考えが変わったよ。」と言ってもらえました。自分の知識と英語力で相手の考えを変えたり、新しい考え方を与えたりすることが出来て、「言語を勉強していてよかった」と改めて思いました。今思えば、アメリカ国内で「日本にある米軍基地」について大きく報道されることは少ないと思います。そういう面でも、私が留学に行った意味があったと考えます。

最後に、私が経験して学んだこれらをどのようにいかしていくのかについてです。チャレンジ精神は、TAのお仕事をする際に役立つと思います。例えば、今までやったことのないイベントや、新しい企画をたくさん考えて、実行に移していきます。しかし、新しいことに挑戦する時は賛成意見ばかりではなく、もちろん反対意見もあると思います。そのような時に、自分の意見を伝える力をいかすことが出来ます。

また留学中に、自分の意見を伝えることと同時に、自分の意見だけではなく相手の話を聞くことの大切さも学びました。お互いに意見を伝えることで、よりよいディスカッションや、コミュニケーションができると考えます。やったことのないことでも、挑戦と話し合いを重ねることで成功することが出来ると思います。そして「自分でしか自分を救うことは出来ない」という考えを通して培った対応力も、TAのお仕事をする際にとっても役立つと思います。チャレンジ精神や、自分の意見を伝える力は、チームワークを大切にする場面で発揮することが期待できますが、対応力は自分自身で瞬時に物事を判断して行動する時に特に役に立

つスキルだと思います。

留学中に培った対応力をTAのお仕事をする際にいかし、またさらに経験を重ねることで、よりよいスキルが得られると考えます。目の前の目標でいかせる場面を考えたため、TAのお仕事をする際にいかせることを中心にお話ししましたが、就職活動や、将来社会人として働く際にも大いにいかせるスキルだと考えます。留学を通して経験し、学んだことをいかすことで、留学の意味があると考えてるので、学んだことを忘れずに、これからの生活に活用していきます。留学に行けて本当に良かったです。ありがとうございました。(WC: 2793)

